

会 議 録（1）

会議の名称	第9回桶川市地域公共交通会議	
開催日時	平成30年10月5日（金） （開会）午前9時00分・（閉会）午前11時15分	
開催場所	桶川市役所4階 402会議室	
主宰者の氏名	桶川市長 小野克典	
議長の氏名	桶川市副市長 松本幸司	
出席者氏名 （委員）	第1号委員：松本幸司 第2号委員：田沼健一、山科和仁、鈴木貴大 第3号委員：熊谷恵一、佐藤学 第4号委員：鶴岡洋 第5号委員：藤田貢 第6号委員：稲元良作、保坂輝雄、新井孝雄、北村文子、 三澤みどり 第7号委員：青木宏之 第8号委員：金子秀和 第9号委員：岡村敏之、野崎高司、川邊恵、畦地英樹、曾田信行	
欠席者氏名 （委員）	第2号委員：長南克幸、野口佳一 第3号委員：高橋弘之 第6号委員：黒河通明 第9号委員：後閑浩幸	
事務局職員 職名及び氏名	市民生活部：部長・川邊吉展 安心安全課：課長・稲垣裕司、主幹・中野栄司、主事・虻川海 オブザーバー 高齢介護課：係長・柳川恵美、係長・關寿生	
会 議 事 項	議 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ○確認事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 前回会議の会議録の確認 (2) 前回会議の振り返り ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 乗降調査の結果について ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市内循環バスの見直しルートについて (2) 市内循環バスの見直し運賃について (3) 市内循環バス見直し運行計画（案）について ○その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 今後のスケジュールについて 	
	決定事項等	なし

配布資料

- 委員名簿・座席表
- 会議録（第8回地域公共交通会議）
- 【資料1】 前回会議の振り返り
- 【資料2】 市内循環バスの見直しルートについて
- 【資料3】 市内循環バスの見直し運賃について
- 【資料4】 市内循環バス見直し運行計画（案）について
- 【資料5】 市内循環バス見直し検討スケジュール
- 【参考資料①】 倉田・川田谷薬師堂地区乗降調査の結果
- 【参考資料②】 桶川市の将来人口等について
- 【参考資料③】 高齢者の循環バスの利用について
- 【参考資料④】 過去5年間における県内、上尾警察署管内、桶川市内の免許返納者数

- 【資料2】 関係
- 【追加資料①】 市内循環バス事業収支率
- 【追加資料②】 見直し検討箇所（ルート）の分析について
- 【資料3】 関係
- 【追加資料③】 定期券、回数券制度導入（案）
- 【追加資料④】 桶川市内公共交通回数券の導入について

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	開会宣言 9月18日付けで委嘱された委員の紹介
委員	新委員あいさつ
事務局	本日の会議は委員25名の内、20名の出席。 過半数出席のため、要綱に基づき会議は成立となる。
会長	会長あいさつ
議長	会議は原則公開となっているが、本日の会議で非公開とする事項はあるか。
事務局	なし。
議長	本日の会議はすべて公開とする。 本日の傍聴希望者はいるか。
事務局	傍聴希望者は2名。
～ 傍聴者入場 ～	
議長	説明 ※傍聴上の注意 本日の会議の会議録署名人は新井孝雄委員にお願いする。
委員	承諾
議長	議題、【確認事項】(1)及び(2)について (1) 前回会議の会議録の確認 (2) 前回会議の振り返り
事務局	説明 ※会議録(第8回地域公共交通会議) ※【資料1】前回会議の振り返り

	～ 指摘等なし ～
議長	議題、【報告事項】(1)について (1) 乗降調査の結果について
事務局	説明 ※【参考資料①】倉田・川田谷薬師堂地区乗降調査の結果
	～ 指摘等なし ～
議長	議題、【協議事項】(1)について (1) 市内循環バスの見直しルートについて
事務局	説明 ※【資料2】市内循環バスの見直しルートについて 【追加資料①】市内時循環バス事業収支率 【追加資料②】見直し検討箇所(ルート)の分析について
委員	川田谷薬師堂地区のルート変更の部分について確認する。見直し後、新たに交通空白の地域となる範囲に8戸があるとの説明だったが、それらの家から見直し後に設置を予定している最寄りのバス停まではどのくらいの距離になるのか。
事務局	350mから400mとなる。
委員	倉田地区はどうか。
事務局	倉田地区についても400m程度と考えている。
委員	この変更によって不便になる人で、どのくらい距離が増えることになるのか。
事務局	今まではバス停まで300m以内の距離だった方が、100m以上プラスになり400m程度を歩いていただくことになると想定している。
委員	加納地区も同様か。
事務局	その様に想定している。目の前にバス停があった方については、最寄りのバス停まで、これまでよりも多く歩いていただくことになるが、500mも、600mも歩かなければならないということではない。新た

	<p>に交通空白地域になったところでも350mから400m程度歩いていただければ到着する範囲内にバス停があると考えている。</p>
委員	<p>高齢者が、400mを歩くのに何分位かかるか時間的な想定はしているか。</p>
事務局	<p>個々の状況に応じた想定まではしていない。</p>
委員	<p>健常者の方が1kmを歩いて移動する時間は、通常15分といわれているが、高齢者であれば500mでも15分位はかかると思う。そうすると400m移動するには最低でも10分程度かかるのではないか。 今回乗降調査した川田谷薬師堂の利用者の年齢層は把握しているか。</p>
事務局	<p>年齢層の把握はしていないが、過去に職員がバスに同乗して実施した乗降調査の状況では、若い方の利用は少なく、殆どが高齢の方の利用であり、現在も同様の状況であると考えている。</p>
委員	<p>道路の状況によると思うが、現状の川田谷薬師堂のルート全てを廃止するのではなく、現在設置しているバス停に配慮するよう現状ルートと見直しルートとの中間の道路を通るようなルートの考え方はできないのか。</p>
事務局	<p>廃止を予定するバス停の中でも利用が多いバス停（上尾道路西側）は、すぐ近くに別路線のバス停が設置されており、廃止をしたとしても、そのバス停で集約ができると考えている。 次に利用が多かった薬師堂集会所のバス停については別路線を迂回させて組み込むことにより、これまで1日6便だったものが13便以上のバスが通ることになる。 残るバス停は、1ヵ月調査をした中で、実際に利用が殆どない状況から考えると、その部分を運行することは、事業収支の点から考えると望ましい状況ではないと考える。 しかしながら、薬師堂集会所のバス停が使いやすくなることから、薬師堂地区としての利便性は向上する面もあるのではないかと考える。</p>
委員	<p>今日の説明は、事業収支に重きを置いた説明となっており、前回までの説明と方向性が大きく変わっているように感じる。循環バスがそれでいいのかと考える。 事業収支については、事業者にお任せしたほうがいいのか。便数が増えたとしても不便になるところは不便であり、集会所まで自</p>

	<p>転車や車で行ける人はいいが、そうではない人もいるので、あまり収支のことを強調して説明をするのはどうかと考える。</p> <p>もし、そういうことで検討するのであれば、利用者が少ないからバス停を廃止するというのではなく、ルートの変更とともに置き去りにされてしまう地域の移動手段についても併せて検討し、提案されなければならないのではないか。</p> <p>自治体として一人も置き去りにしないという考え方からすると、今回の内容は問題があるのではないかと考える。</p> <p>循環バスの目的には、交通弱者の移動手段の確保といった部分があるが、事務局の説明にあったように持続可能な公共交通として循環バスの見直しを考える中で、事業収支のバランスを図ることについては避けて通れない課題であると考えます。</p> <p>これまで、循環バスは5千万円程度の赤字と認識していたが、それが6千万円まで増えたという説明を受け、市の負担が増えていることを実感した。</p> <p>今後、持続可能な公共交通機関として考える場合には、ある程度我慢をしていただく方が出てしまうのは、望ましくはないが致し方ないところもあると考えます。</p> <p>地方では、400mから500mどころではなく、1km先にも交通機関がないところもある。それに比べると桶川市は非常に恵まれている部分もあると考えます。</p> <p>今回の見直しルート案では、これまでよりも不便になる所がどうしても出てしまうが、全体のバランスを考えて事業を進めていく必要があると考えます。</p> <p>そういった考え方の中で、今回示されたルート案に関しては、合理的な案になっているので、この案で進めていただきたいと考える。</p> <p>ただし、不便になる方がいるので、パブリックコメント等、地元の意見も聞きながら、進めていただきたい。</p>
委員	<p>倉田、小針領家地区に「りんごの家入口」というバス停があるが、ここには社会福祉法人で障害者の施設がある。</p> <p>確かに、このバス停の利用者は少ないが、このバス停が無くなることによる代替手段について、どのように考えているのか。また、施設側に循環バスの見直しの話をしているのか確認したい。</p>
事務局	<p>「りんごの家入口」のバス停並びに伊奈町の福祉施設へ通われている方が利用している「小針領家夜回り」のバス停については、前後のルートは見直すものの廃止する予定はない。</p>

委員	<p>ただし、見直しにより運行時間帯は変更となる見込みなので、そういったところは随時、施設側等に説明をさせていただきたいと考えている。</p> <p>交通空白地域、交通不便地域の考え方について、県、運輸支局の方に確認したい。</p> <p>国では考え方を定義していると思うが、都市圏と郊外で設定の仕方が異なるのではないか。バス停から半径300mというのが一般的と考えるが、私の認識では郊外では半径500m、自治体によっては半径400mという基準を持っているところもある。</p> <p>埼玉県の場合、半径何mといった基準、指針等はあるか。</p>
委員	<p>交通空白地域について、埼玉県では特に定義をしておらず独自の基準は設けていない。</p> <p>県内では駅から1km、バス停から300mといった考え方で物差しとして捉えている市町村がある。</p>
委員	<p>交通空白地域について、国では補助金の要綱の中で決められているものや事案の審査基準に設けられているものもあるが、明確な基準はない。</p> <p>言い方についても、交通空白、交通不便と色々あり、一般的には県と同様に駅から1km、バス停から300mというのが基本的ではないかと考える。</p>
委員	<p>交通空白地域に関しては様々な考え方があると思うが、今回の見直しについては試験運行が予定されており、その結果を受けて、再度見直しをすることもあることを前提とすれば、桶川市内においてもこの会議が始まった時に地域ごとに交通空白地域の基準を設けた方が良かったのかもしれない。</p> <p>高齢者が歩く速度は健常な方で秒速1mと言われおり、500mであれば約8分かかる。個人的には10分歩くのは大変であると思う。では、8分歩くことがいいのかというと、他に歩くことが可能な道路がないという様なことを考えるとどこかで妥協しなければならない。</p> <p>一方、便数については減らさないとのことであるので、トータルで考えればバス停から遠くなるということだけでは不便にはならないのではないか。</p> <p>また、駅への速達性の向上というこの見直しの目的もあるので、そういったことを含めれば、ルートに関しては大正解ではないけれども、賛成できる内容となっているのではないかと考える。</p>
委員	<p>高齢者の殆どが200円の運賃は反対だと思う。</p>

委員	<p>民間路線バスのルートも含めて、現段階でも不便な方はいるかもしれない。</p> <p>そういった方々に対して、バス停までのタクシー助成や高齢者の料金をどのように設定するかということもルート案の見直しに合わせて提案していただきたい。</p> <p>現状考える試験運行の原案としては、全体的にベストではないかと考える。</p> <p>一方、置き去りにされる人がいないということを考えるのは大変重要なことである。</p> <p>この会議及び市がどこまで真摯に検討してきたかということ資料として出していただきたい。</p> <p>その上で大切なのは、バスだけで市民の移動の問題が全て解決されるのであれば、とにかくバス停を沢山設置していけばいいが、例えば、自宅から50mの位置にバス停があったとしても、体力的にバス停まで歩いてバスを利用するのが厳しい方も多くいると考える。また、駅まで500mのところに住んでいる方でも駅まで歩くのは厳しい方もいる。</p> <p>委員の皆さんには、移動の問題はバスだけで解決しないということ認識した上で、バスがやるべきことをどこまでできたかということ考えて判断をいただきたいと考える。</p> <p>試験運行では実際にお客さんが利用する中で、これは少し違うのではないかという意見が当然出てくる。それらの意見については、対応していくという前提で協議をお願いしたいと思う。</p>
議長	<p>議題、【協議事項】(2)について</p> <p>(2) 市内循環バスの見直し運賃について</p>
事務局	<p>説明※【資料3】市内循環バスの見直し運賃について</p> <p>【参考資料②】桶川市の将来人口等について</p> <p>【追加資料③】定期券、回数券制度導入(案)</p> <p>【追加資料④】市内公共交通回数券の導入について</p>
委員	<p>定期券については、全ての循環バスで利用が可能なのか。駅を挟んでの東西の利用は少ないとのことだが、例えば、駅東側の自宅から駅西側のサン・アリーナを往復するとなると現在考えている料金で往復800円かかることになるが、それも定期券で行けるようになるという設定か。</p>
事務局	<p>そのような設定をしたいと考えている。</p>

委員	<p>バス、鉄道の定期券は、通常20日間の運賃で30日分利用できるという設定が多く、既にそれで約30%割引となっている。そこからさらに約25%割引となると約55%の割引となる。現在、200円で基本料金を設定しているが、実際は100円で利用できるようになる可能性がある。</p> <p>高齢者の中で毎日利用する人は殆どいないと思うが、東西間で利用できるとなると50%どころではなく約75%割引となる。そのような状況となるのは、民間路線バスとの関係上問題ではないかと考える。</p>
委員	<p>定期券、回数券を導入する場合の担保が必要と考える。手続き上の話であるが、事務局の案として提出されたものが、この会議が決定した事項として提言という形でもいいので、それをもとに導入を考えていくような形にしておく必要があるのではないかと考える。</p>
事務局	<p>提言という形を取ることが必要なのか、すぐに判断できないが、定期券、回数券の導入は高齢者の外出を促進するとともに持続可能な公共交通の確立を目指した公共交通利用促進案として考えたものでもある。</p> <p>市の施策としてどこまでのことができるのか財政的な面も含めて検討し、その内容をこの会議に提案し、皆様に協議していただきたいと考えている。</p>
委員	<p>資料4の市内循環バス見直し運行計画（案）の中に方針等があるが、この会議として中間報告的なものをまとめ、それをパブリックコメントにかけ、市民の皆さんから寄せられた意見を反映したものを最終的にこの会議で決定するのか、市長が決定するのか分からないが、どこかで決定しなければならない。</p> <p>この会議として中間報告等をしなければ、パブリックコメントをする位置づけが難しいのではないかと考える。会議として提言する形で整理しなければ、事務局が考えているという事であってもそのバックボーンとなるものがない。</p>
委員	<p>諮問を受ける形で私たちは審議をしている。事務局から提出された案が妥当かどうか審議し、決定する会議として認識している。</p> <p>そのところについて議長に確認する。</p>
議長	<p>資料4については、パブリックコメントで意見を聞くために、循環バスのルート等の見直しについてまとめた資料である。</p> <p>パブリックコメント実施後は、寄せられた意見を検討し、運行計画として取りまとめたものを再度この会議にお示しし承認をいただく形になる。</p>

	<p>る。</p> <p>それが試験運行用の運行計画となる。実際の運行をした中で見直すべき部分が出てくるとも想定されるが、それらを受けて本格運行に移行するものであり、そのための必要な見直しが必要になることになる。</p> <p>その過程において会議の中で、それぞれ決定していく事項がある。本会議で決定する運行計画と市の政策の齟齬という点では、市の政策決定の実務担当者が本会議の事務局を担っていることから、齟齬は生じないと考える。</p> <p>これまでの会議は、パブリックコメント案について審議しているが、パブリックコメントは殆どがそのまま通ってしまうというのが日本社会の実態。このことから考えるとパブリックコメントは大きな意味を持っている。</p> <p>中学生は、大人に含まれるとなっているが、教育の一環として市内の公共施設である図書館や生涯学習センター等を利用してもらえるよう、中学生については運賃100円にすべきだと考える。</p> <p>医療費については、高校生まで無料としていることもあるので、中学生の運賃も100円にすべきではないか。</p> <p>定期券、回数券については、年金生活者からすると毎月5、6千円を生活費の中から捻出するのは困難である。高齢者が回数券として購入ができるのは2、3千円程度ではないか。高齢者の定期券、回数券の販売価格については、もう少し考えるべきだと思う。</p>
委員	<p>資料3の(1)運賃、(2)要配慮者の運賃割引制度については、提案のとおりでいいと思う。</p> <p>ただし、75歳以上の高齢者については、福祉的な側面から高齢者外出支援として半額の100円にすべきと考える。対象としては市内在住の75歳以上の高齢者、基本料金半額の運賃100円であれば、これまでと変わらない。</p> <p>ご提案の定期券、回数券はヘビーユーザー向けの取り組みであり、高齢者向けの外出支援としては意味がないと考える。</p> <p>高齢者運賃を100円とする場合、手続き上、年齢の確認等難しいところがあると思うが、例えば75歳以上の後期高齢者には、年齢確認用の特別乗車証を発行し、外出しない方にも配布することで外出しやすい環境を整えることが必要と考える。</p> <p>定期券、回数券による高齢者割引については、福祉の観点から高齢者全体への取り組みとなっていないため、導入には反対である。</p>
委員	<p>高齢者も大切であるがこれからの社会を担う子供たちも大切である。</p>

委員	<p>子供たちに電車、バス、タクシー等公共交通の体験をさせることも重要である。</p> <p>少子化が叫ばれている中、昨今3人目を生んでいる方も多く、小さいお子さんを抱えてお出かけをする方もいらっしゃることを考えると3人目までは無料、4人目から有料という形にしてもいいのではないか。</p> <p>運賃の値上げには反対意見がある中で、定期券等の制度を導入したとしても損をするところが多いのであれば、利用者の平等性を図ることが難しくなる。定期券等の導入についてはよく検討した方がいい。</p> <p>皆さんの意見を全て吸い上げ、反映するのは難しいと思う。</p> <p>追加資料③の回数券の備考の欄に100円券50枚綴りを想定とあるが、通常回数券というのは販売額5,000円であれば特典部分を含んで51枚、52枚というような設定をすると思うが、この書き方は間違いではないのか。</p>
事務局	<p>この書き方は間違いではなく、特典部分を付けない形の資料とした。</p> <p>今回、まずは高齢者に重きを置いた取り組みを検討していた中で、回数券を導入してはどうかということで検討をしたもの。</p> <p>例えば、5,000円分の回数券を設定した場合に、どのくらい75歳以上の高齢者への割引になるかを比較する資料としている。</p> <p>また、回数券の販売を委託するとなれば、その部分に対しても費用がかかることから特典部分を軽々には乗せられないという事もあり、あえて特典部分を上乘せしない資料としている。</p>
議長	<p>議論を集約するという意味もあって、事前に、あえて通常回数券と75歳以上の高齢者分を比較がし易いような資料にすると聞いていた。</p> <p>追加資料③については議論のたたき台であり、既に何かが決まっているというものではない。</p>
委員	<p>回数券についてはバスの中での乗務員による販売を想定していると思うが、金券である回数券5,000円相当分を10冊程度乗務員が持つのは乗務員の負担が大きい。どこへ行くにも肌身離さず持ち歩かなければならない。</p> <p>また、利用者も一回使った後で無くしてしまうケースも想定される。</p> <p>ヘビーユーザー向けの説明もあったが、導入するのであれば週に3回程度の利用で、一カ月で使い切る程度での金額での設定を考えた方がいい。</p> <p>定期券、回数券等でこれだけ種類があると、駅の待機時間でお客さんをさばききれない可能性がある。</p>

委員	<p>制度としてはいいと考えるが、もう少しシンプルにした方がいい。</p> <p>高齢者は基本料金半額との意見があったが、そうすると益々タクシーとの運賃かい離が発生してしまうので、高齢者の運賃については、そのあたりも配慮した上で判断をしなければならないと考える。</p> <p>資料3の(1)については、民間路線バスの運賃と設定が異なるとかえって混乱が生ずる可能性があるので、運賃設定を合わせた方が問題ないと思う。</p> <p>また、資料3の(2)については、会社や地域で異なると思うが、決め事というところを考えれば妥当。(1)と(2)はこのままで良いと思う。</p> <p>加えて、妊婦さんは無料といった取り組みを行っているコミバスもあるので、もし、そういった部分での配慮を考えるのであれば、運賃とは別に福祉等の予算で、運賃割引という事ではなく、市が補助という形で実施した方がいいと思う。</p> <p>運賃はシンプルにさせていただき、高齢者の割引についてはこれまでの会議でも何度か意見をしたが、お金を出すのは率直に厳しいというのはその通りだが、それであれば、お米券を配れば良いというのが私の主張である。何でコミュニティバスだけ割引となるのか、利用しない方の理解が必要と思う。今回提案の、循環バスだけでなく路線バスやタクシーの移動に対しても薄く広く割引するのはいい取り組みである。</p> <p>ただ、これが現実的かどうか、乗務員が売買することが可能なのかというところは考えなくてはいけない。</p> <p>高齢者の年齢の設定は、おそらく市の財政状況から75歳以上にしたのではないかと考える。</p> <p>一方で高齢者を考えると、免許返納以前に車に頼らない生活に徐々に移行していくとすると75歳では少し遅い。70歳位で比較的バスが楽に利用でき、75歳になったら少し運転に不安が出てくる。それでも普段からバスを利用しているので、ゆるやかに移行していくことが可能となるようにする。できれば70歳位から車に頼らない生活へ徐々に移行するところに市が後押しをしていく様な政策の中で割引を考えてはどうか。</p> <p>それが75歳というのであれば、それはそれで良いかと思うが、70歳から取組みを実施することも考えられるので、割引の考え方を福祉担当で考えていただければと思う。</p>
委員	<p>埼玉県内でコミュニティバスを運行している41市町村の調査結果によると、収支率のアベレージは約23%である。</p> <p>それと比較した場合、桶川市は現段階でもその平均を上回っている状</p>

況にある。

一方でこの平均を下回っている自治体では、大体運賃が均一で100円のところが多く、収支率が20%後半から30%となっている自治体については運賃が200円となっている。

また、割引の部分で色々な手段を講じて、実施している自治体も多く、例えば、免許返納をした方に、1年間コミュニティバス無料乗車証を配布している自治体もある。

三芳町では利用した回数券の領収書、タクシーの領収書に対し一定程度の金額を上限として町が補助をするというような福祉施策としての取組みを導入しており、地域の状況に沿った施策の中で割引を実施している。

また、県内殆どの自治体で子供料金は小学生までが半額となっており、中学生まで半額運賃という形を導入しているのは1～2自治体となっている。

委員

高齢者割引を考えるときに70歳からか75歳からという話があったが、最近割引運賃を70歳から75歳に引き上げるという見直しを行っている自治体がある。これまでは特別乗車証を配布してチェックするようにしていたが、今後は割引対象年齢の引き上げとともに後期高齢者の保険証でチェックするようにして、特別乗車証の発行を止める自治体があった。これにより事務手続きが楽になり、簡略化することができるようになったとのこと。

また、妊婦に対する割引として妊婦限定の特別乗車証を発行している自治体もある。

委員

アイデアとして情報をいただくのは良いが、他市の事例、世の中の流れを考えるよりも、個人的には桶川市民の立場に立って考えるスタンスをとっている。なぜ、中学生の話をしたかというと、桶川市では教育は大変大きな問題となっている。

市内には教育施設が不足している状況の中、どのように施設を利用してもらうか、大型店舗に行くような子供たちが多い中で、教育や子育てに配慮すべきということで中学生の運賃100円を主張している。

おそらく中学生の運賃を100円にしても200円にしても、あまり収支に影響はないと考える。

もし、この会議の中で出来ないのであれば教育の方で施設に来たら割引券をあげるような仕組みが考えられるので、教育も含めて子育てのまちという事で中学生運賃100円を主張する。

高齢者については、パブコメを実施すれば、殆ど反対意見があがってくると思う。

委員	<p>この資料では高齢者に分かりにくいものとなっている。高齢者が利用したときにどのような割引があるのか、もう少し分かり易くしていただきたいと思う。</p> <p>弊社のバスでは、通常200円のコースの定期券は1ヵ月8,880円に設定している。</p> <p>65歳以上の高齢者に対しては『ラブリーパス』という半年間16,000円、1年間30,000円の定期券を発行しており、これは東京、埼玉千葉、全ての地域で利用可能となっている。</p> <p>定期の期間を半年、1年間としているのは、高齢者の方が定期券を購入しやすいように配慮しているため。</p> <p>定期券、回数券制度を導入した場合、どこで販売する形をとるのかわからないが、毎月高齢者の方が定期券等を購入するのは難しいと考える。</p> <p>弊社の場合、定期券購入時には、年齢、氏名を記入していただき免許証、健康保険証で確認して販売している。高齢者の方は紛失してしまうこともあるので、記名式にすると再発行が可能となる。また、多くの枚数の回数券を毎日持ち歩くというのは考えづらい。</p> <p>高齢者のことを考えると1カ月の定期、回数券の導入というのは難しいと感じる。</p>
議長	<p>議題、【協議事項】(3)について</p> <p>(3) 市内循環バス見直し運行計画(案)について</p>
事務局	<p>説明 ※【資料4】市内循環バス見直し運行計画(案)について</p>
委員	<p>これまでに色々協議した内容が反映されていると思うが、ポイントは要配慮者の運賃をこのレベルで提示して、パブコメを踏まえて検討することとするのか、その前にもう少しこの会議の中で検討するのかということだと考える。</p> <p>個人的には、現時点でパブコメに出して広く意見を聴取していいものかと考える。割引については詳細が記載されておらず、そのメニューの記載のみとなっているというのが気にかかる。</p> <p>この会議の中で「こういった論点で協議をした」程度の内容を記載しなければ資料としては不十分ではないかと考える。</p> <p>このままパブコメにかけると逆に様々な意見がでてしまい、まとまりがつかなくなることも想定されるので、もう少し内容については検討をいただいた方がいい。</p>
委員	<p>パブコメで出す資料は、この資料4と考えていいのか、それともその</p>

事務局	<p>他、別に資料を作成するのか。</p> <p>この資料4の方針等を見ると市のスタンスが違うのではないかと感じる。</p> <p>ルート案の中で、今あるバス停が移動する所の明示はされているのか。バス停が新たに設置される箇所、無くなる箇所はわかるが、もともと設置されている所から移動している所もあるようだが、実際に移動する箇所はどこか。</p> <p>資料4が、パブリックコメント用の運行計画（案）として考えている。その他の資料としては、過去の会議資料、会議録を用意したいと考えている。</p> <p>見直し案の中では、ルートの迂回に伴いバス停が移動しているところもある。</p> <p>ただし、図上で機械的に間隔を見ながらバス停を記載したところもあるので、現在設置されているバス停とずれた位置に記載されたものもあるかと思うが、基本的にはルートが従前どおりで、廃止しないバス停については、設置場所の変更は考えていない。</p>
委員	<p>パブリックコメントに出す資料として、ルートについては問題ないと考える。</p> <p>ただし、運賃に関しては議論が煮詰まっていないところもある。パブコメを実施して市民の意見を聞くというのは大切だが、会議の中でどういった議論があったのかということも大切である。</p> <p>資料4をパブコメ（案）として出すのは時期尚早と考えるため、パブコメ前にもう一度会議を開催して協議し、パブコメ（案）を決定した方がいいのではないか。</p> <p>書き方の内容として、修正、加筆が必要なところは、各委員から意見を聴取し、次回会議までに内容を整理した方が良い。</p>
委員	<p>同意見である。資料4の内容については、修正をした方が良いと思われるところがある。次回会議を開催するという前提で、各委員に修正すべき箇所について意見を聴取し、集約していただきたい。</p>
委員	<p>資料4の内容の中で、一般に理解しづらい表現が見受けられる。誰にでも理解できるよう噛み砕いた表現や注釈をつけるなど、記載の方法は工夫した方がいい。</p> <p>資料4の2ページ目の「1. 現状、(1) 利用者の減少」というところで、利用状況が非常に悪い印象を与えるような記載がされているが、先ほど桶川市は県内でも利用状況はいい方であるという話もあった。</p>

	<p>もう少し、そういったところも県内他市町との比較も記載するなどして、桶川市は頑張っているけど、現在の状況がこうなっているので、こうしたいというような課題解決に向けた内容を記載した方がいいと考える。</p>
議長	<p>議題、【その他】(1)について (1) 今後のスケジュールについて</p>
事務局	<p>説明 ※【資料5】市内循環バス見直し検討スケジュール</p>
事務局	<p>本日の会議での指摘を踏まえ、運賃について再検討するとともに、資料4についても皆さまに意見をいただいて整理、調整させていただきたい。パブコメに進む前に再度会議を開催し、ご審議いただきたい。</p>
議長	<p>事務局より資料を修正し、パブコメに進む前に会議を開催してお諮りしたいとのことであるが、それでよいか。</p> <p style="text-align: center;">～指摘等無し～</p>
議長	<p>パブコメ前に更に会議を行うこととする。 本日の議論全体を通しての意見などあるか。</p> <p style="text-align: center;">～指摘等無し～</p> <p>事務局は、次回会議までに調整すべきところはしっかりと調整し、特に運賃に関しては、事業者の意見も聞きながら、利用者が理解できるような内容に整理し、次回会議に提示していただくようお願いする。 他に意見がなければ終了とする。 以上</p>
事務局	<p>閉会宣言</p>

平成30年11月27日

会議録署名人 新井孝雄